

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3 年3 月24 日

事業所名 聖ヨハネ子どもセンター ぽぼらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		遊具の配置やプログラムの流れを工夫しながら適切なスペースの確保に努めています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		お子さまのニーズに合わせ、個別に対応できるよう、多職種の配置を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		一部段差のある個所がありますが、危険の無いよう、工夫や配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		各箇所の消毒、換気、空気清浄機を活用し、衛生的環境に努めています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎回療育終了後にカンファレンス、各月ごとに振り返りを行い、問題点と改善点について話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からのご意見を参考に、業務改善につなげていきます。	評価表とは別に年度末に事業所独自のアンケートを実施し、幅広く保護者にご意見をいただくことを検討していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今年度より、ホームページ等を活用し、公表を行います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価を行っていません。今後検討を行っていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的には人権研修、発達に関する研修など、職員研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者による聞き取りや観察、発達検査の結果により分析の上、計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査結果を使用し、アセスメントを行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者のニーズを聞き取りながら、必要な項目を選択し、支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿って、支援を行うよう努めています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的な会議において各職種の視点を取り入れ、計画を作成しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		粗大運動、微細運動を組み合わせ、効果的な支援ができるよう、内容の検討を行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子さまの状態に合わせて、支援内容を検討し、計画作成を行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育前に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の確認を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回、療育終了後、カンファレンスを行い、振り返りを行い、課題点や改善点について共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の記録を取り、支援の検証を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施、会議で見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当職員が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の要望に応じて連携を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、医療的ケアが必要な方の御利用はありませんが、必要がある場合は、適切な連携を行います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要な方の御利用はありませんが、必要がある場合は、適切な連携を行います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望に応じて連携を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望に応じて連携を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて連携を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		交流の機会は設けていませんが、保護者に幼稚園等の情報提供を行っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在参加していません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育中、療育の後等に保護者の方とお子様の様子についてお話を聞き、発達について共有するよう心がけています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		プログラムとしては実施していませんが、保護者支援の観点から、心理的な個別面接を必要に応じて実施しています。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画作成後、保護者に説明を行い、同意を得ています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に、保護者相談を実施しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会等は開催していませんが、今後、保護者グループ懇談等交流の場の提供について検討を行います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて、ご希望があれば、適切に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月お便りを発行し、療育内容や行事について発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		管理を徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて対応しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民の方を招待する機会は設けていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成し、必要な訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		インテーク面接時に保護者に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者への聞き取りにより、必要な対応を行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		療育中のヒヤリハットについて、必ず記入し、改善点について職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		個別的に行動の把握を行い、身体拘束を行う必要がないよう、環境や関わりについて検討し、支援を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。